

授業科目	* 成人急性期看護方法論				単位	2		
履 修	必修	関連資格	高一種免(看護) 養教一種免		ナンバリング	NU21311J		
開講年次	2	開講時期	後期	該当DP	DP1-2 DP2-1 DP3-2			
担当教員	高橋 甲枝、財津 倫子							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>急性期病院にて看護師経験を有し、消化器外科、整形外科、呼吸器外科、心臓外科等における臨地実習の指導経験をもとに講義を行う。</p> <p>急性期看護の特徴と急性期に必要な理論を理解し、急性期にある対象の特徴、疾病や治療、周手術期看護について解説する。急性期にある対象とその家族に対してアセスメントに必要な看護の視点を明確にし、生命の危機的状況や日常生活と異なる状況下での看護を解説する。また、患者・家族の身体・心理・社会的健康問題を取り上げ、急性期医療に関わる医療チームの役割と連携について解説する。</p> <p>この授業は遠隔授業として実施する。但し、試験は対面で実施する。詳細については講義内で説明を行う。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 急性期看護の概念とその特徴・課題を明確にし、急性期看護に必要な理論について説明できる。(DP1-2) 急性期にある患者・家族の特徴を理解し、対象に応じた基本的な看護のあり方を説明できる。(DP1-2) 急性期の看護として、とくに外科治療に伴う周手術期看護および危機的状況に陥った患者の看護について説明できる。(DP1-2.DP2-1) 術前から術後に至る過程で起こる健康上の問題をアセスメントすることができる。(DP2-1) 急性期看護における医療チームメンバーの役割・連携と看護の専門性について説明できる。(DP3-2) 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	80	0	20	0	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)	40		0				40	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	40		15				55	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)			5				5	
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
<ol style="list-style-type: none"> 急性期看護の概念とその特徴・課題を明確にし、急性期看護に必要な理論について説明できる。 急性期にある患者・家族の特徴を理解し、対象に応じた基本的な看護のあり方を説明できる。 急性期の看護として、とくに外科治療に伴う周手術期看護および危機的状況に陥った患者の看護について説明できる。 術前から術後に至る過程で起こる健康上の問題をアセスメントし、看護計画を作成できる。 				<ol style="list-style-type: none"> 急性期看護の概念とその特徴・課題を明確にし、急性期看護に必要な理論について説明できる。 急性期にある患者・家族の特徴を理解し、対象に応じた基本的な看護のあり方を説明できる。 急性期の看護として、とくに外科治療に伴う周手術期看護および危機的状況に陥った患者の看護について説明できる。 術前から術後に至る過程で起こる健康上の問題をアセスメントすることができる。 				

5. 急性期看護における医療チームメンバーの役割・連携と看護の専門性について説明できる。 6. 急性期における周手術期の学習を深めることで、生命の危機的状況にある患者・家族に対する援助を想起し、実習において根拠に基づいた看護実践ができる。		5. 急性期看護における医療チームメンバーの役割・連携と看護の専門性について説明できる。		
授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	急性期看護概論 (高橋) ・急性期看護の特徴と課題 ・急性期の主要症状とメカニズム ・急性期看護に必要な理論	講義	復習: 該当部分の復習 予習: 次回の講義内容を確認し、テキストをチェック	60
2	周手術期看護の概論 (高橋) ・術前・術中・術後の看護の目標 ・手術を受ける患者・家族の特徴 ・術前患者の看護	講義 DVD 視聴 個人ワーク	復習: 該当部分の復習 予習: 次回の講義内容を確認し、テキストをチェック	60
3	周手術期看護の概論 (高橋) (術中・術後患者の看護) ・手術室における看護の展開 ・手術後の回復を促進するための看護	講義 DVD 視聴 個人ワーク	復習: 該当部分の復習 予習: 次回の講義内容を確認し、テキストをチェック	60
4	乳房切除術を受ける患者の看護 (高橋) ・乳房切除術を受ける患者・家族の心理 ・乳房切除術を受ける患者の看護 ・術後に起こりやすい障害と指導	講義 事例	復習: 該当部分の復習 予習: 次回の講義内容を確認し、テキストをチェック	60
5	肺切除術を受ける患者の看護①(高橋) ・肺の手術を受ける患者の看護 ・胸腔ドレナージの看護	講義 DVD 視聴 事例	復習: 該当部分の復習 予習: 次回の講義内容を確認し、テキストをチェック	60
6	肺切除術を受ける患者の看護② (高橋) ・肺の手術後の合併症とその看護 ・退院支援	講義	復習: 該当部分の復習 予習: 次回の講義内容を確認し、テキストをチェック	60
7	脳神経機能障害のある患者の看護 (高橋) ・脳・神経疾患の主な症状と観察 ・脳・神経疾患の検査を受ける患者の看護 ・脳室(脳槽)ドレナージ施行中の看護	講義	復習: 該当部分の復習 予習: 次回の講義内容を確認し、テキストをチェック	60
8	クモ膜下出血患者で開頭術を受ける患者の看護 (高橋) ・術前のアセスメントと看護 ・術後合併症のリスクアセスメント ・術後合併症予防と看護	講義	復習: 該当部分の復習 予習: 次回の講義内容を確認し、テキストをチェック	60
9	消化・吸収障害のある患者の看護(財津) ・消化器の検査を受ける患者の看護 ・腹腔鏡下手術での看護	講義	復習: 該当部分の復習 予習: 次回の講義内容を確認し、テキストをチェック	60
10	胃切除術を受ける患者の看護(財津) ・胃切除術(胃癌)における合併症とその看護 ・胃切除術を受ける患者の周手術期-回復期の看護	講義	復習: 該当部分の復習 予習: 次回の講義内容を確認し、テキストをチェック	60
11	排泄機能障害のある患者の看護(財津) ・直腸の手術(人工肛門造設術)を受ける患者の周手術期の看護 ・人工肛門造設術後の合併症への援助と回復期の看護	講義	復習: 該当部分の復習 予習: 次回の講義内容を確認し、テキストをチェック	60
12	肝機能障害のある患者の看護(財津) ・肝がんの診断・治療と観察の視点 ・肝臓の手術を受ける患者の周手術期の看護	講義	復習: 該当部分の復習 予習: 次回の講義内容を確認し、テキストをチェック	60

13	循環器に障害のある患者の看護について(財津) ・経皮的冠動脈インターベンションを受ける患者の看護 ・虚血性心疾患患者のリハビリテーション看護	講義	復習: 該当部分の復習 予習: 次回の講義内容を確認し、テキストをチェック	60
14	循環器・呼吸器に障害のある患者の看護(財津) ・心拍動下冠動脈バイパス術を受ける患者の看護 ・IABP 装着中の看護 ・人工呼吸器装着中の看護	講義	復習: 該当部分の復習	60
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	看護形態機能学、疾病学総論・各論との関連性を十分に考慮し、学習に臨む必要があります。			
テキスト	「系看別巻 1 臨床外科看護総論」(医学書院)「系統看護学講座専門 2.3.5.7.9」(医学書院)			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	「系看別巻 2 臨床外科看護各論」(医学書院)			

授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	この授業では、系統的に疾病・治療に伴う急性期看護を探究します。1. 2 年生に履修した形態機能学、疾病総論・各論、成人看護学概論の復習を必ず行うとともに、各回のテーマについては、シラバスを参照し、事前にテキストをチェックするなど、予習をして臨むことを期待します。 急性期方法論の範囲は、とても広いので日々の復習を確実にしていくことが大切です。
達成度評価に関するコメント	試験およびレポートの内容については、授業の中で説明します。